

きつつき相談室だより

桐始結花（きりはじめてはなむすぶ）号

こんにちは。皆さん調子はいかがですか？1学期お疲れさまでした。各学年とても忙しかったですね。1年生は次々夢中でやってきたら終わっちゃったよ、という感じかもしれません。夏休みは宿題に部活に遊びにと、やはり忙しく過ぎるのでしょうか。少しはのんびりできるといいですね。生活リズムを崩さないように、体に気をつけて過ごしてください。

今回は「利き耳」のお話です。いつも両方使っていると思うでしょう？それがちょっとおもしろいことがあるみたいです。

（古川）

ぶち心理学

ききて 利き手じゃなくて「ききみみ 利き耳」。

何気なく付いている2つの耳ですが、全く同じ働きではなくて、例えば左耳から情報を入れると脳でドーパミン（快さを感じる神経伝達物質）が出やすいという実験結果があるそうです。また、私たちには利き手と同じように「利き耳」があって、次のような特徴があるようです。耳から入る情報には時間差があり、

＊右耳からの情報⇒言語をつかさどる左脳

＊左耳からの情報⇒右脳⇒言語をつかさどる左脳

というように処理されるそうです。

「利き耳が右」の人は「左脳」を使いやすいらしく、記憶力や数字に強い、言語能力や論理的思考力が高いという特徴があり、「利き耳が左」の人は「右脳」を使いやすく、芸術的な人が多いとか、発想力豊かで、全体をまとめたりする能力があるという特徴があるそうです。

自分の「利き耳」は、電話をどちらの耳で聞くかとか、耳を澄ませて聴く時にどちらを向くかでわかり、生まれつきで、変えるのは難しいようです。

それがどんな効果があるかというと、言語をしっかり記憶に残したい時は自分の「右耳」を意識するとか、音楽を聴く時は「左耳」を意識する、説得したい時は「相手の右耳」に話す、感情を共有したい時は「相手の左耳」に語りかける、とか、意図的に使うとそんな効果があるのだそうです。

ホントかな～…一般的には両耳で聞いているのにとは感じますけれど、物は試し、ですね。皆さん、おうちの人や先生の話聞く時に「右耳」で聞くようにしましょうね。